

令和7年度「学校評価」の分析と改善の方策

令和8年2月 宮城県美田園高等学校

「学校評価」アンケートへのご協力ありがとうございました。この結果を踏まえて、よりよい学校になるよう一層努力してまいりますので、今後とも御理解と御協力をお願いいたします。

	生徒			保護者		
	R7	R6	R5	R7	R6	R5
実施年	12月	12月	11月	12月	12月	11月
実施月	1134	1098	1018	1134	1098	1018
対象者数(登録者)	177	184	303	167	150	233
回答者数	16%	17%	30%	15%	14%	23%
回答者割合						

設問 1	スクール・ミッションの実現について								
生徒	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。								
保護者									
教職員									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員		
	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5
よくあてはまる	46%	45%	39%	32%	23%	25%	19%	21%	29%
だいたいあてはまる	40%	46%	43%	59%	62%	56%	69%	71%	68%
あまりあてはまらない	2%	1%	3%	1%	1%	3%	8%	4%	0%
あてはまらない	1%	1%	1%	0%	0%	1%	0%	4%	0%
よくわからない	11%	7%	14%	8%	15%	16%	4%	0%	4%
アンケート結果の分析内容	生徒、保護者、教職員ともに肯定的評価が高い水準で推移しています。新しい教育課程の完成年度であることが結果に表れているのではないかと思います。教職員に関しては否定的評価もありましたが、新教育課程移行や、生徒の実態の多様化に伴い、より適した学校の在り方を模索してく余地があるものと考えます。								
改善の方策	令和8年度もすべて新しい教育課程での実施となりますが、生徒の実態を踏まえたうえで、改めてスクールポリシーに照らし合わせ、より良い教育課程の編成になるように課題の洗い出し等に着手したいと思います。								

設問 2	レポート添削について								
生徒	本校では、学ぶ意欲を引き出し、学力が身につくようなレポート添削が行われている。								
保護者									
教職員									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員		
	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5
よくあてはまる	33%	40%	37%	28%	27%	26%	8%	4%	7%
だいたいあてはまる	55%	47%	48%	58%	54%	58%	77%	83%	89%
あまりあてはまらない	9%	7%	8%	8%	7%	5%	8%	13%	4%
あてはまらない	0%	2%	2%	0%	1%	2%	0%	0%	0%
よくわからない	2%	4%	5%	6%	9%	9%	8%	0%	0%
アンケート結果の分析内容	生徒の肯定的な回答(R6 87%→ R7 88%)・保護者の肯定的な回答(R6 81%→R7 86%)は微増していますが、職員の肯定的な回答(87%→85%)は、微減しています。このことから、数多くのレポートの添削に追われていても、先生方が丁寧に添削をしているということが読み取れます。								
改善の方策	様々な学習歴のある生徒が本校に在籍していることを踏まえ、各科目の学習方法のあり方やレポートの各設問にどのような答えが求められているのか、添削等の場面で生徒にどう伝えていくのかを、各科目で検証していきたいと思います。								

設問 3		スクーリングについて								
生徒		本校のスクーリングはレポート作成に役立っている。								
保護者										
教職員										
数字は%を表しています		生徒			保護者			教職員		
		R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5
よくあてはまる		56%	61%	57%	34%	31%	24%	38%	33%	7%
だいたいあてはまる		36%	34%	35%	56%	57%	57%	54%	58%	89%
あまりあてはまらない		5%	2%	5%	4%	1%	4%	4%	4%	4%
あてはまらない		0%	2%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%
よくわからない		3%	1%	2%	6%	10%	15%	4%	4%	0%
アンケート結果の分析内容		生徒の肯定的な回答(R6 95%→R7 92%)は微減していますが、保護者の肯定的な回答(88%→90%)は微増しています。職員の肯定的な回答(91%→92%)も微増しているため、現行スクーリングがレポートに取り組む点で有効であると評価されていることがわかります。								
改善の方策		レポートと共に、スクーリングが本校での学習の根幹であるという認識を職員間で共有し、スクーリングに出席することで、レポートの学習内容をより理解できるという「スクーリングの学習補助的役割をいかに活用していくのか」ということを、今後検証していきたいと思えます。								

設問 4		基本的な生活習慣について								
生徒		生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。								
保護者										
教職員										
数字は%を表しています		生徒			保護者			教職員		
		R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5
よくあてはまる		29%	24%	25%	19%	11%	17%	4%	8%	11%
だいたいあてはまる		36%	45%	49%	39%	51%	46%	50%	63%	57%
あまりあてはまらない		19%	14%	10%	10%	9%	10%	35%	25%	21%
あてはまらない		3%	4%	3%	4%	3%	3%	4%	0%	4%
よくわからない		12%	13%	14%	28%	27%	25%	8%	4%	7%
アンケート結果の分析内容		「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」の肯定的な回答が毎年生徒では7割程度保護者では6割程度あるものの、わずかながらここ3年減少傾向にあります。また、教職員の「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の回答が増加しています。								
改善の方策		スクーリング時における自習室や校内巡回におけるのマナーアップにつながる指導を継続していくと同時に、年度初めやスクーリング開始前に生徒指導に関して全職員で挨拶やマナーなどの生活習慣の指導を再確認します。								

設問 5		進路指導について								
生徒		生徒にとって、進路達成に向けた行事や講座などの学習機会が整備されている。								
保護者										
教職員										
数字は%を表しています		生徒			保護者			教職員		
		R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5
よくあてはまる		42%	36%	23%	24%	23%	16%	38%	21%	14%
だいたいあてはまる		46%	48%	42%	54%	53%	43%	62%	75%	71%
あまりあてはまらない		5%	3%	6%	6%	7%	12%	0%	4%	14%
あてはまらない		0%	2%	4%	1%	2%	3%	0%	0%	0%
よくわからない		7%	10%	24%	13%	15%	26%	0%	0%	0%
アンケート結果の分析内容		肯定的な回答は、生徒(84%→88%)、保護者(76%→78%)とも上昇しています。教職員による評価も肯定的な回答が多く(96%→100%)、校内においても理解と協力が得られていると感じています。								
改善の方策		減少傾向ではあるが「よくわからない」という回答が一定数あるので、各種ガイダンスや模擬試験等の進路関係行事について、進路だよりに加えてGoogle Classroomに進路のクラスを作成して周知を図っていきたくと考えています。								

設問 6		相談の体制について								
生徒		生徒にとって、教員やカウンセラーが必要なときに相談に応じてくれる体制ができている。								
保護者										
教職員										
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5	
よくあてはまる	40%	46%	43%	24%	26%	25%	46%	42%	54%	
だいたいあてはまる	38%	35%	37%	48%	52%	45%	46%	54%	46%	
あまりあてはまらない	6%	3%	4%	7%	6%	7%	4%	4%	0%	
あてはまらない	2%	3%	2%	1%	1%	2%	0%	0%	0%	
よくわからない	13%	13%	14%	20%	15%	21%	4%	0%	0%	
アンケート結果の分析内容	「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」の肯定的な回答が生徒では8割程度、保護者では7割程度と高い数値を示しています。また、教職員の肯定的な回答も非常に高くなっています。									
改善の方策	引き続き養護教諭を中心にSC・SSW及び関係年度・担任と連携をはかります。また、生徒・保護者に対し、「保健室だより」や「カウンセリング通信」を通してより一層の周知をはかっていきます。									

設問 7		生徒会活動について								
生徒		学校として、生徒会活動は活発に行われている。								
保護者										
教職員										
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5	
よくあてはまる	33%	35%	31%	19%	19%	18%	38%	29%	18%	
だいたいあてはまる	34%	40%	37%	49%	43%	44%	62%	71%	79%	
あまりあてはまらない	5%	3%	6%	5%	6%	8%	0%	0%	0%	
あてはまらない	2%	1%	1%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	
よくわからない	25%	20%	25%	26%	32%	31%	0%	0%	4%	
アンケート結果の分析内容	「あてはまる」「よくあてはまる」の肯定的な回答が生徒・保護者ともに7割程度ありますが、一方で「よくわからない」と回答している割合が生徒・保護者ともに全体の4分の1程度存在しています。									
改善の方策	生徒会の活動は、年々充実したものになってきています。活動の報告や参加した生徒の感想などを、参加しなかった生徒が今度は参加してみたいと思わせることができるような工夫を引き続き行っていきます。									

設問 8		学校行事について								
生徒		遠足、運動会、校内生活体験発表会等の行事は有意義である。								
保護者										
教職員										
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5	
よくあてはまる	35%	35%	39%	25%	31%	22%	46%	54%	43%	
だいたいあてはまる	32%	32%	38%	47%	45%	43%	50%	46%	57%	
あまりあてはまらない	6%	7%	6%	7%	5%	11%	4%	0%	0%	
あてはまらない	3%	4%	2%	2%	3%	1%	0%	0%	0%	
よくわからない	24%	21%	14%	19%	16%	23%	0%	0%	0%	
アンケート結果の分析内容	「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」の肯定的な回答が生徒では6割程度、保護者では7割程度と高い数値を示しています。また、「よくわからない」と回答した生徒は、2割程度おり増加傾向です。									
改善の方策	行事後の参加者アンケートでは、「楽しかった」等の肯定的な回答がほとんどになっています。各行事の参加者を増やすことで、行事参加の意義を感じる機会を増やしていきます。									

設問 9	災害・非常時の避難方法について								
生徒	生徒・保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。								
保護者									
教職員									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員		
	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5
よくあてはまる	42%	42%	45%	30%	21%	35%	27%	17%	14%
だいたいあてはまる	44%	44%	38%	55%	47%	46%	62%	71%	82%
あまりあてはまらない	5%	4%	5%	5%	9%	6%	8%	13%	0%
あてはまらない	1%	1%	2%	2%	5%	2%	0%	0%	0%
よくわからない	8%	8%	10%	8%	17%	12%	4%	0%	4%
アンケート結果の分析内容	令和7年度では、特に保護者において改善と評価する傾向が顕著であり、肯定的評価はR6比で+17%(R5比+4%)増加し、否定的評価はR6比-7%減少、不明はR6比-9%減少しています。これらの数値から、災害・非常時の避難方法や連絡方法の周知が着実に進んだことがうかがえます。								
改善の方策	生徒については評価が横ばいで推移し、教職員についてはやや変動が見られることから、今後は、改善が見られた保護者向けの取組を継続するとともに、教職員間での共通理解を改めて確認し、さらに生徒に対しては体験的・具体的な指導を一層充実させていきます。								

設問 10	郵送物について								
生徒	学校だより『みたその』や年度だより等の郵送物で、学校の情報を十分得ることができている。								
保護者									
教職員									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員		
	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5
よくあてはまる	48%	53%	50%	36%	37%	32%	38%	25%	39%
だいたいあてはまる	43%	40%	43%	57%	56%	58%	62%	71%	57%
あまりあてはまらない	6%	2%	2%	4%	2%	4%	0%	4%	4%
あてはまらない	1%	2%	2%	1%	2%	0%	0%	0%	0%
よくわからない	3%	3%	3%	2%	3%	5%	0%	0%	0%
アンケート結果の分析内容	生徒の肯定的な回答(R6 93%→R7 91%)は微減していますが、保護者の肯定的な回答(93%→93%)が前年度と同じ割合で、職員の肯定的な回答(96%→100%)は微増しています。「みたその」「年度だより」が、本校の学校生活・学習全般のことを知る上で、よく活用されていることがわかります。								
改善の方策	毎月のみたその便が届いたらすぐ開けて、「みたその」「年度だより」等で直近の予定等を確認することを今後も呼びかけていきたいと思います。eメッセージ・Myスタ・Google Classroomによる情報発信も、「みたその」「年度だより」と並行しておこなっていきたいと考えています。								

設問 11	情報発信について								
生徒	eメッセージ・Google Classroom・Myスタで、学校の情報を適切に得ることができている								
保護者									
教職員									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員		
	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5
よくあてはまる	55%	51%		35%	33%		27%	21%	
だいたいあてはまる	32%	40%		51%	51%		69%	58%	
あまりあてはまらない	6%	4%		5%	3%		4%	13%	
あてはまらない	3%	1%		1%	1%		0%	4%	
よくわからない	3%	4%		8%	11%		0%	4%	
アンケート結果の分析内容	昨年度より全ての対象者で「よくあてはまるが」増加している。教職員の肯定的回答の増加はGoogle Classroom導入や研修会等開催による、ICTスキル向上の成果と分析しています。								
改善の方策	新入生オリエンテーションにおける説明や年度HRを利用して講習会等を開催することが必要だと考えられる。また、教職員研修会等は今後も継続して開催していきます。								

設問 12	施設設備について								
生徒	教室や図書館、ラウンジ、トイレ等の施設は整備されている。								
保護者									
教職員									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員		
	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5
よくあてはまる	71%	76%	76%	43%	41%	38%	54%	71%	54%
だいたいあてはまる	27%	21%	20%	38%	37%	43%	38%	29%	43%
あまりあてはまらない	1%	1%	2%	4%	3%	3%	4%	0%	4%
あてはまらない	1%	1%	0%	1%	1%	0%	4%	0%	0%
よくわからない	1%	2%	3%	14%	17%	17%	0%	0%	0%
アンケート結果の分析内容	「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と回答した生徒の割合が非常に高いです。またウエルみやぎの施設設備は管理センターを中心に維持管理されており、いつも丁寧に清掃して下さる担当の皆さんあってこそその数字だと考えています。								
改善の方策	施設設備の環境整備を続けていくことによって、より効果的な学習環境を提供し、生徒の学習意欲を高めていきたいと考えています。								

設問 13	いじめ問題について								
生徒	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。								
保護者									
教職員									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員		
	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5
よくあてはまる	28%	29%	26%	11%	11%	12%	31%	25%	29%
だいたいあてはまる	28%	30%	26%	31%	32%	24%	54%	63%	61%
あまりあてはまらない	6%	3%	5%	4%	7%	4%	12%	13%	7%
あてはまらない	2%	3%	1%	1%	1%	2%	0%	0%	0%
よくわからない	37%	34%	42%	53%	49%	58%	4%	0%	4%
アンケート結果の分析内容	「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」の肯定的な回答が生徒では6割程度、保護者では4割程度と低くなっています。また、「よくわからない」と回答した生徒が4割程度おり、保護者では約半数が「よくわからない」と回答しています。								
改善の方策	引き続きスクーリング時の生徒の様子などを、見守ることで、いじめの早期発見につなげていきたいと思えます。また、2年前より、学校生活アンケートの実施を、年1回から2回へ増やし、いじめの早期発見につながるようにしています。								

設問 14	生徒の学校生活について								
生徒	生徒にとって、学校生活は充実している。								
保護者									
教職員									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員		
	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5
よくあてはまる	33%	34%	38%	20%	21%	20%	4%	4%	4%
だいたいあてはまる	46%	51%	43%	53%	55%	54%	69%	63%	64%
あまりあてはまらない	9%	5%	8%	11%	7%	10%	19%	17%	14%
あてはまらない	3%	5%	5%	4%	4%	5%	0%	0%	0%
よくわからない	7%	4%	6%	11%	12%	12%	8%	17%	18%
アンケート結果の分析内容	生徒の「充実している」という肯定的な回答(79%)は前年(85%)よりやや低下しましたが、高い水準を維持しており、安定していると言えます。保護者の肯定的な評価も変わらず高水準です。教職員の肯定度は上昇傾向にあります。								
改善の方策	生徒の肯定度が微減傾向にある事実を踏まえ、生徒一人ひとりの学習状況や満足度を丁寧に把握し、個別指導や学校行事の充実を図ります。教員側からの評価も考慮し、より満足度の高い学校生活を目指します。								

設 問 15	日常の教育活動について		
教職員	本校職員は、組織の一員であることを意識して、日常の教育活動に当たっている。		
数字は%を表しています	教職員		
	R7	R6	R5
よくあてはまる	31%	17%	18%
だいたいあてはまる	54%	54%	75%
あまりあてはまらない	4%	17%	7%
あてはまらない	0%	0%	0%
よくわからない	12%	8%	0%
アンケート結果の 分析内容	教職員の肯定的回答は85%(R7)と高い水準ですが、前年(R6:71%)と比べると、「よくあてはまる」の回答が大幅に増え、組織意識が大きく向上している傾向が見られます。一方で、「よくわからない」も一定数います。		
改善の方策	組織意識向上という良い傾向を維持するため、全職員が学校目標や活動内容を共有する会議等を機会を見てに実施します。特に「よくわからない」と回答した職員への情報共有を面談等を通して強化します。		

設 問 16	分掌目標の実現について		
教職員	本校職員は、分掌目標の実現のために努力している。		
数字は%を表しています	教職員		
	R7	R6	R5
よくあてはまる	31%	21%	25%
だいたいあてはまる	65%	63%	71%
あまりあてはまらない	4%	13%	4%
あてはまらない	0%	0%	0%
よくわからない	0%	4%	0%
アンケート結果の 分析内容	教職員の「分掌目標の実現に努力している」という肯定的回答は96%(R7)と極めて高い水準で、前年(R6:84%)からも大幅に向上しました。「あまりあてはまらない」が減少し、教職員一人ひとりが目標達成に積極的であることがわかります。		
改善の方策	高い目標意識をさらに効果に繋げるため、各分掌の具体的な目標達成度と活動成果を確認し、全職員に共有していきます。これにより、組織全体の協働と連携を促進し、教育の質を高めます。		

設 問 17	業務の効率化について		
教職員	本校職員は、学校として業務の効率化に取り組んでいる。		
数字は%を表しています	教職員		
	R7	R6	R5
よくあてはまる	8%	13%	11%
だいたいあてはまる	58%	42%	43%
あまりあてはまらない	23%	33%	43%
あてはまらない	8%	4%	0%
よくわからない	4%	8%	4%
アンケート結果の 分析内容	教職員の肯定的回答は66%(R7)で、前年(R6:55%)から向上し、改善傾向が見られます。しかし、約3割が「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答しており、業務効率化の取り組みが十分ではないと感じている職員も多くいます。		
改善の方策	業務の効率化について具体的な成功事例や改善策を共有し、ICTツールの活用研修などを積極的に実施します。特に負担が大きい業務の洗い出しと見直しを行い、教職員の時間外勤務の削減に努めます。		